



もう1分だけでも

オリンピックのメダルラッシュに盛り上がりはありますが、新型コロナウイルスの感染者激増には厳重な注意が必要です。夏期講習の残りの期間も対面での授業は継続しますが、今まで通りにマスク着用・事前検温・手指消毒の徹底をお願いします。教室内はエアコンをつけながらも換気を行うので外気温との温度差はそれほど高くなりません。こまめな水分補給を心がけましょう。ただしマスクを外すのは一瞬だけにとどめてください。

さて、いろいろなニュースが飛び交うこんな時期だからこそ気をつけたいのが情報の正しい受け止め方。NHK スペシャル取材班が昨年の放送をもとに出版した本の中でウソやデマそしてフェイクニュースがいかに爆発的に拡散するかを検証しています。“怒りなどの負の感情は3倍拡散する”こと“フェイクは真実より20倍速く拡散する”こと、さらに社会に混乱と分断をもたらすために生み出されたフェイクが組織的に拡散され、一般市民のもとに届いてしまうことを指摘します。そしてなんとわざとフェイクニュースを流して利益を上げるフェイクビジネスまでもが成立してしまっているようです。その仕掛人が「みんながもう1分だけでも読んで考えていたなら、多くのフェイクニュースは何の影響も与えることはできなかったらう。」と取材班に語っていました。

ところで、「もう1分だけでも」は学校の定期テストや塾の統一テストのみなさんの答案をチェックしていても思うことです。「もう1分問題文を最後まで読んでいたら、こんな間違いはしないよなあ。」と思えたり、「ここでもう1分ねばって考えたら、解けたはずなのになあ。」と感じたりすることが度々あります。

“いつも追い立てられている感”は大人でも感じていること。デジタル社会が進み、生活テンポが速くなっていることへの当然の反応なのかもしれません。それを最も敏感に感じているのが現代の子どもたちなのでしょう。しかし、ここでなんとか踏みとどまることも身につけておきたいものです。